

# 在宅介護・地域包括支援センターの 評価について

# 地域包括支援センターの事業評価について

介護保険法の改正により、市町村及び地域包括支援センターは地域包括支援センターの業務について評価を行うとともに、機能強化に向けた必要な措置を講じなければならないとされた。

「地域包括支援センターは、介護予防ケアマネジメントや包括的支援事業等の実施を通じて、地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、その保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的としており、今後、地域包括ケアシステムの構築を推進していく上で、その機能強化は重要な課題である。」

「地域包括支援センターが、その機能を適切に発揮していくためには、地域包括支援センターごとに業務の状況を明らかにし、それに基づいた必要な機能強化を図っていく必要がある。」

平成30年7月4日 付老振発0704第1号「地域包括支援センターの事業評価を通じた機能強化について(通知)」抜粋

# 国による評価指標の課題と本市の対応

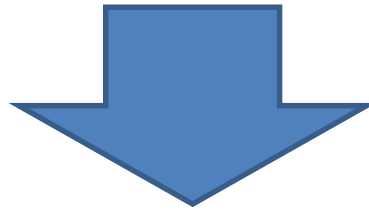
国の評価指標は全国統一のものであるため、この指標のみでは本市における施策の方向性や地域性等に応じた各センターの特性を把握しきれない。

## 課題 1

本市では小地域完結型の相談体制を整備する中で、市、基幹型地域包括支援センター、各在宅介護・地域包括支援センターが方針を共有化し、緊密に情報共有と連携を図っているため、国による評価指標ではセンターの評価結果が均一化し、差が生じない。

## 課題 2

担当地区の地域性やセンター独自の工夫などの状況が把握できず、評価を通じた本市独自施策の方向性、優先度の意識付けも困難。



## 本市の対応

センター毎の課題を明らかにすると同時に、本市施策に応じたきめ細かい評価項目を設定する必要があることから、国の評価指標に本市独自の項目を加え、より詳細に各センターの活動実績を把握。

# 評価項目の追加と分類の分割、追加

- 本市単独事業や重点取組事項に関する項目を追加。
- 「事業間連携」として一括りにされていた分類を3つに分割。
- 「市単独事業及び重点取組項目」を追加。

## 国の分類

組織運営体制

総合相談支援

権利擁護

包括的・継続的ケアマネジメント支援

地域ケア会議

介護予防ケアマネジメント・介護予防支援

事業間連携

## 武蔵野市の分類

組織運営体制

総合相談支援

権利擁護

包括的・継続的ケアマネジメント支援

地域ケア会議

介護予防ケアマネジメント・介護予防支援

在宅医療・介護連携

認知症高齢者支援

生活支援体制整備

市単独事業及び重点取組項目

活動実績をよりきめ細かく把握し、評価する。

追加

## 追加した評価項目(例)

- 国の「運営状況調査票①」に、本市単独事業や重点取組事項に関する項目を追加
- 計6項目について、31問を追加

### 総合相談支援

- ・サービス未利用者実態調査は完了しましたか。

### 権利擁護

- ・全ての虐待事案について、通報から事実確認まで48時間以内に対応していますか。

### 包括的・継続的ケアマネジメント支援

- ・地区別ケース検討会の開催目標数は達成できましたか。

### 認知症高齢者支援

- ・認知症サポーター養成講座の開催数は何回ですか。(数字記入)

### 生活支援体制整備

- ・生活支援コーディネーターによる地域資源立ち上げ回数は昨年度実績を超えていますか。

### 市単独事業及び重点取組項目

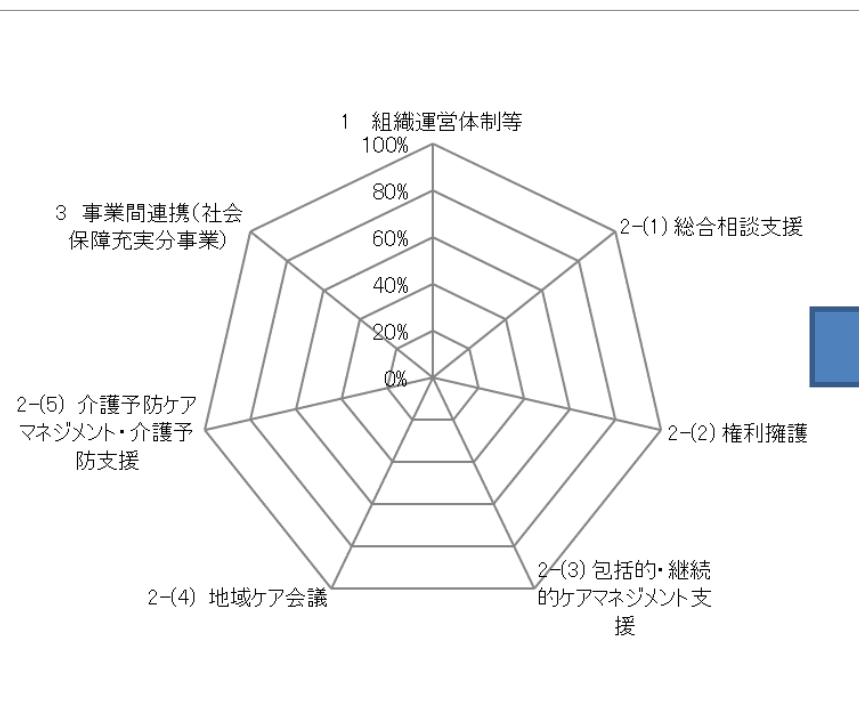
- ・いきいきサロンの新規開設目標数を達成しましたか。

# レーダーチャートのイメージ

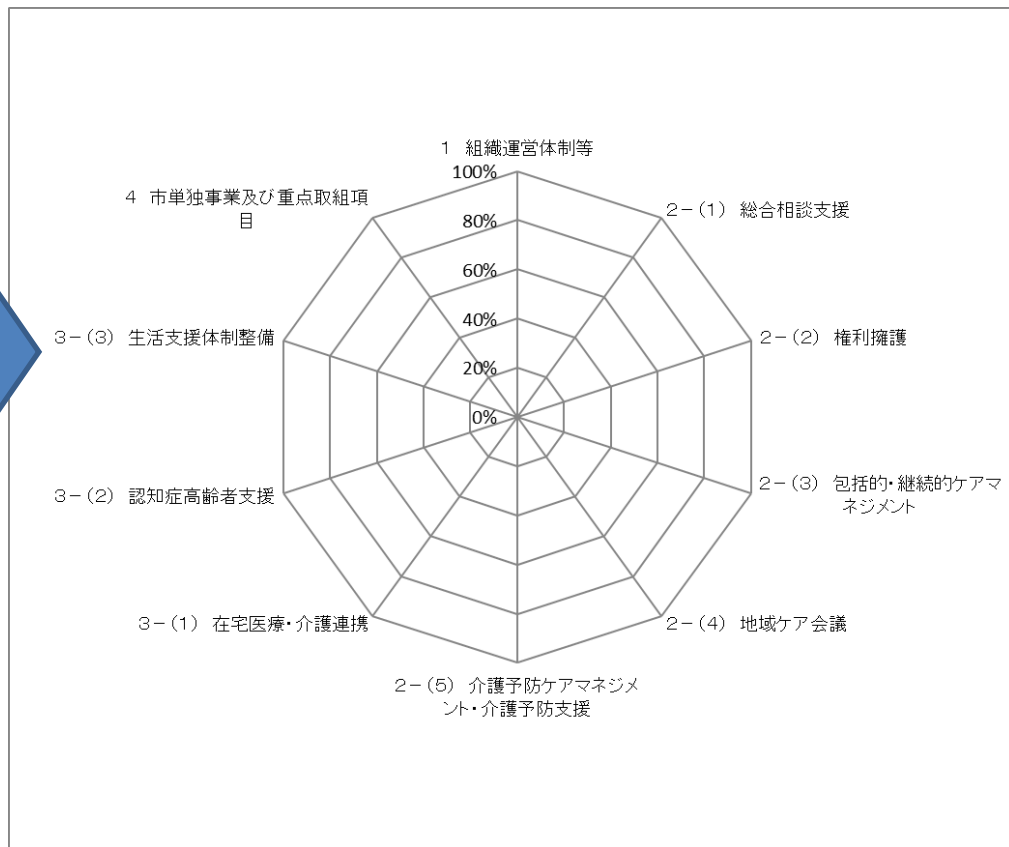
○評価結果はレーダーチャートで表示。

○分割、追加した分類により、レーダーチャートも7角形から10角形に細分化。

国のレーダーチャート  
(7角形)

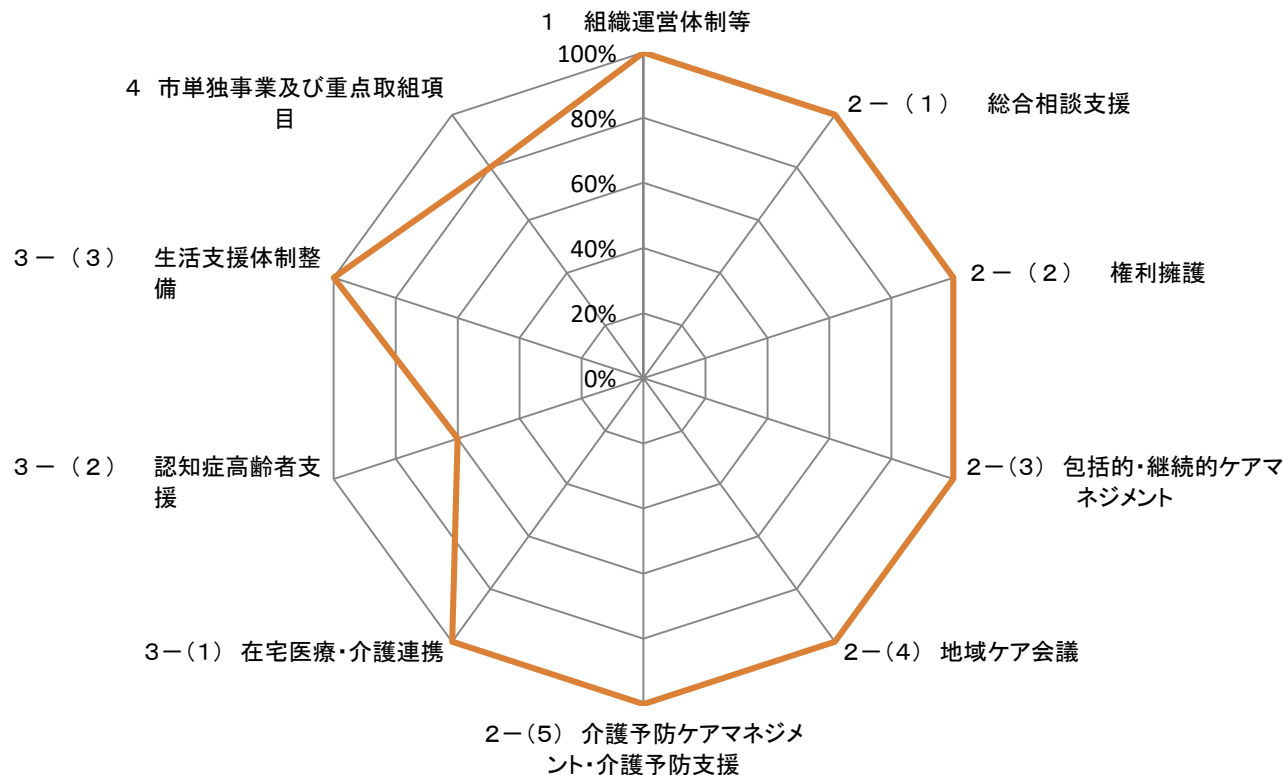


武蔵野市のレーダーチャート  
(10角形)



## ゆとりえ

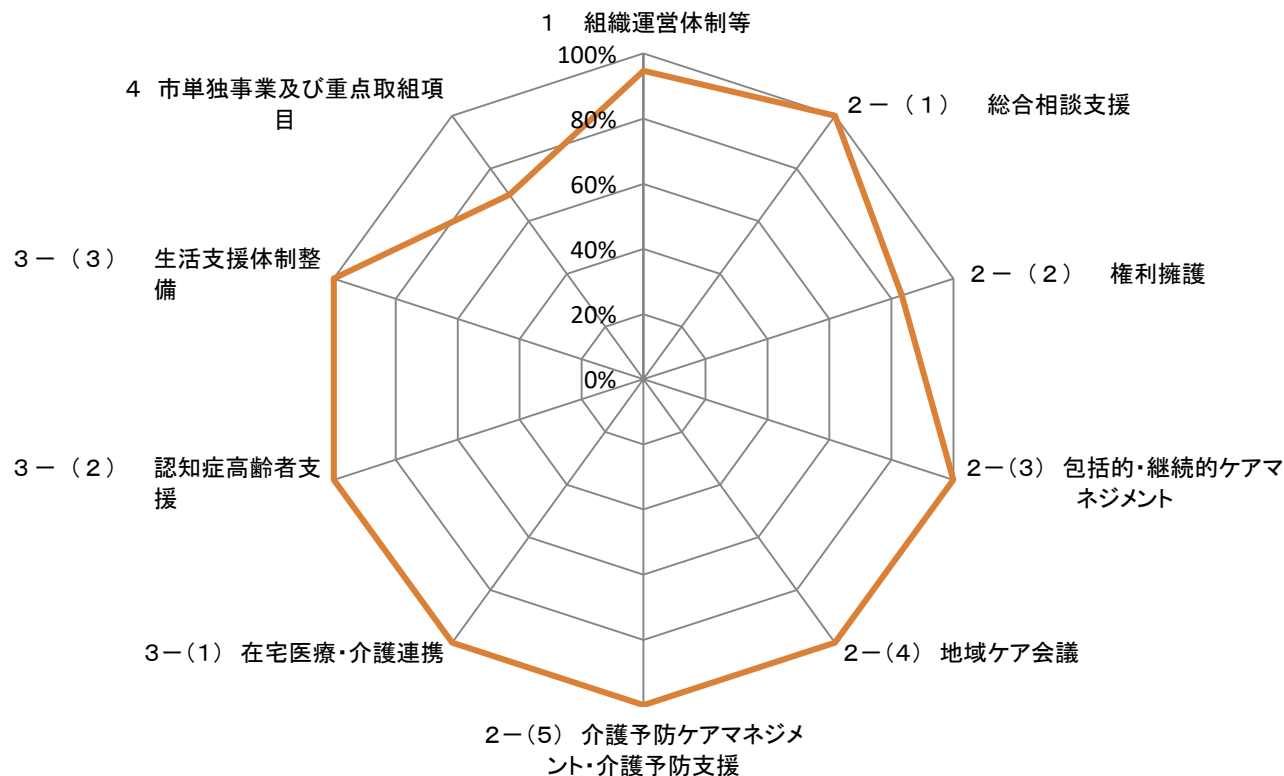
## 在宅介護・地域包括支援センター



- 居住者の高齢化が進むマンションの課題に対応するため、個別会議及びエリア会議を開催し、マンション理事会や管理人との関係構築につなげた点について高く評価する。
- コロナ禍でフレイル予防が課題になっている中で、ゆとりえ・地域福祉の会・コミュニティ協議会と協働でラジオ体操を実施できたことは、地域と課題を共有し解決に向けた実績として大いに評価したい。
- 全センターの中で唯一計画値を上回る3件の認知症初期集中支援事業を行っており、認知症ケアに積極的な取り組みが行われており、今後も引き続き認知症高齢者支援に尽力いただきたい。

# 吉祥寺本町

## 在宅介護・地域包括支援センター

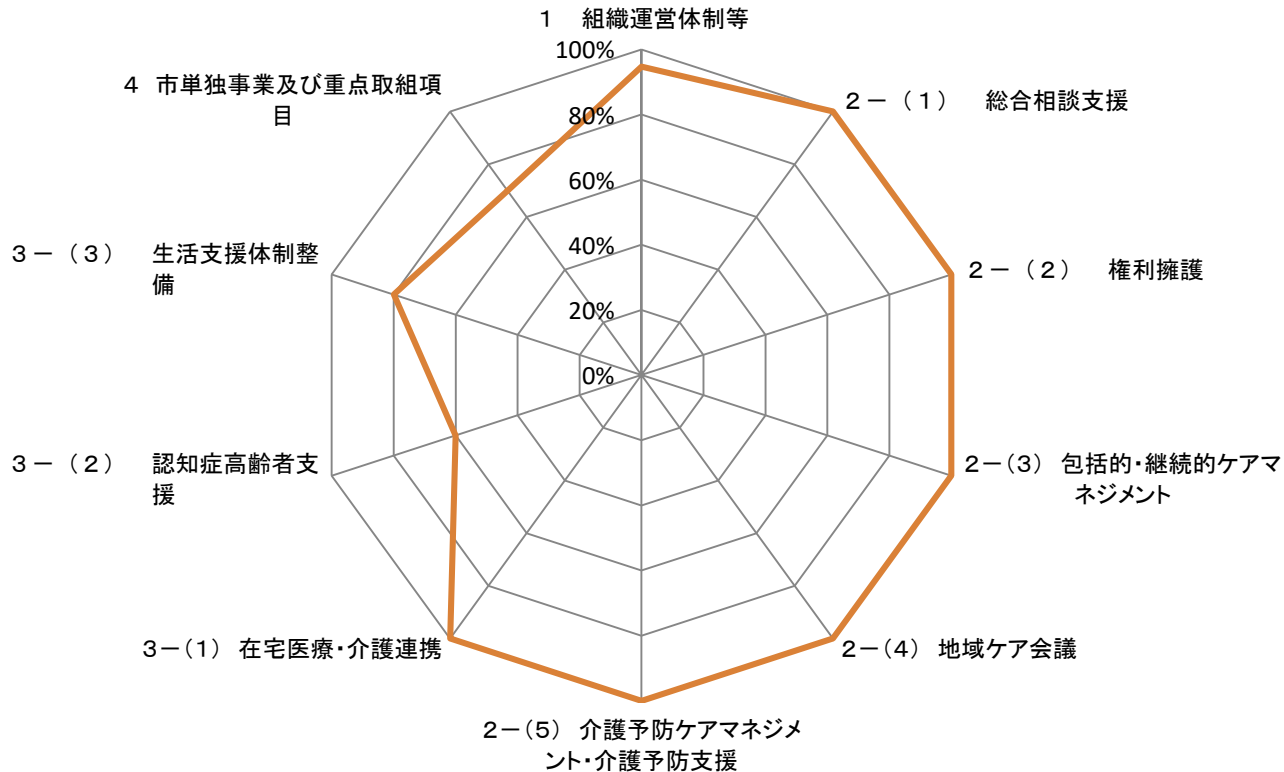


- 有志によるオンラインネットワーク「吉祥寺本町・御殿山NETWORKの会」を立ち上げ、フレイル予防や地域の課題の迅速な把握、多世代交流の企画・実施にあたり中心的役割を果たしたことをとりわけ評価する。
- 認定調査前にケアマネジャーへの現況の確認や、困難事例について支援会議で課題を明確にし、役割分担を行うなど、市民の実態把握と同時にケアマネジャーへの後方支援を意識した対応ができており、今後もケアマネジメント支援に尽力いただきたい。
- 認知症初期集中支援事業や個別地域ケア会議を活用して、認知症ケアへの取組みを通じて医療介護連携や地域づくりを積極的に推進できているため、引き続き認知症高齢者支援に取り組んでほしい。



# 高齢者総合センター

## 在宅介護・地域包括支援センター

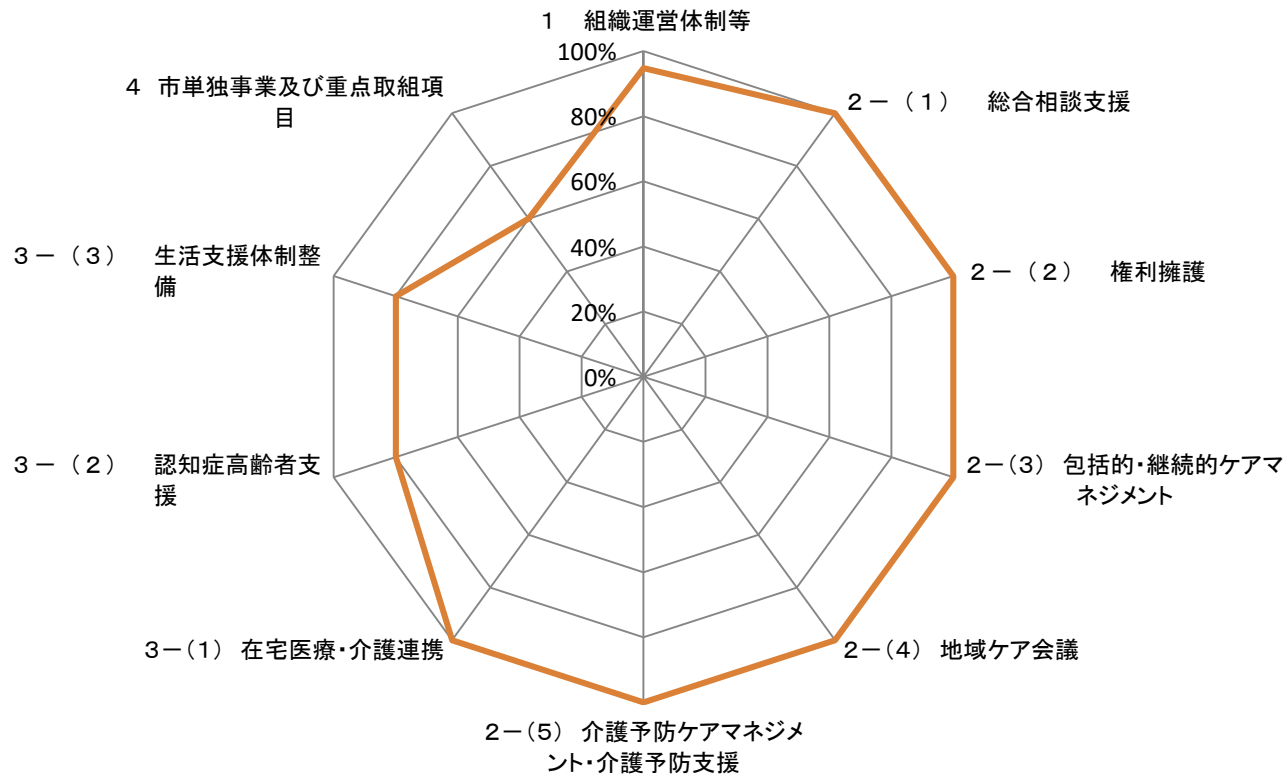


○ 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、在宅勤務や時差出勤を推奨するなどしたほか、業務効率化チームの設置やクラウド型ビジネスチャットツールの導入など、業務改善、感染予防対策、働き方改革に努めている点は大いに評価する。

○ 担当地域も広く相談対応業務が増加しているなかで、昨年度に引き続きネットワーク構築のため地域福祉の会、コミュニティ協議会、商店会、マンション管理組合等の地域関係機関や団体と積極的に情報交換や情報共有を行い、フレイル予防や孤立防止、感染症対応等の事業に取り組んでいることは非常に評価すべき点である。

# 吉祥寺ナーシングホーム

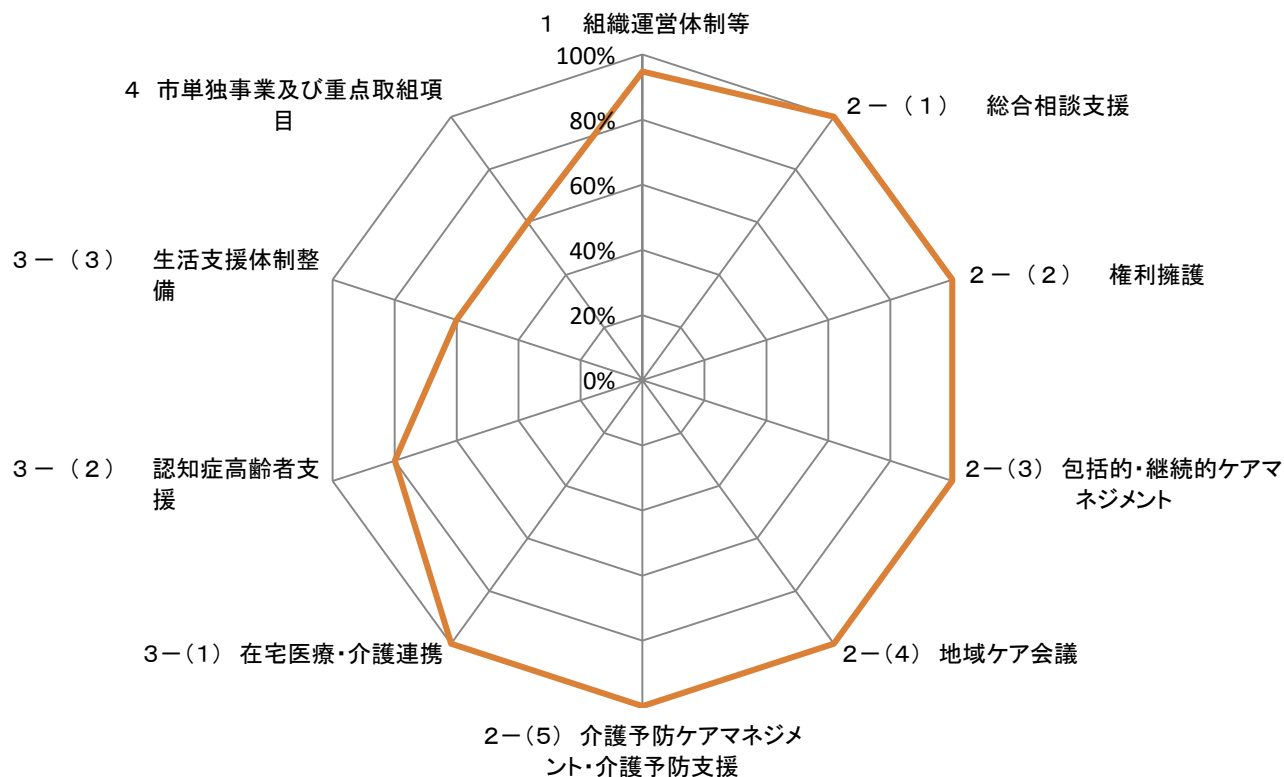
## 在宅介護・地域包括支援センター



- エリアを巡回して体操プログラムを実施する「北町キャラバン」は、地域資源を掘り起こすユニークな取り組みである。会場の確保と合わせて、いきいきサロンの立ち上げに繋げていただきたい。
- 要介護認定更新者についても積極的に実態把握を実施している点、認定更新延長者へも可能な範囲でサービス担当者会議に出席するなど、工夫して実態把握に努めていると思われる。
- 市単事業の目標数が未達成であることをセンターの職員間で情報共有し、職員全員で対象者の確認やアプローチを図ったチームケアが行われていることは評価する。

# 桜堤ケアハウス

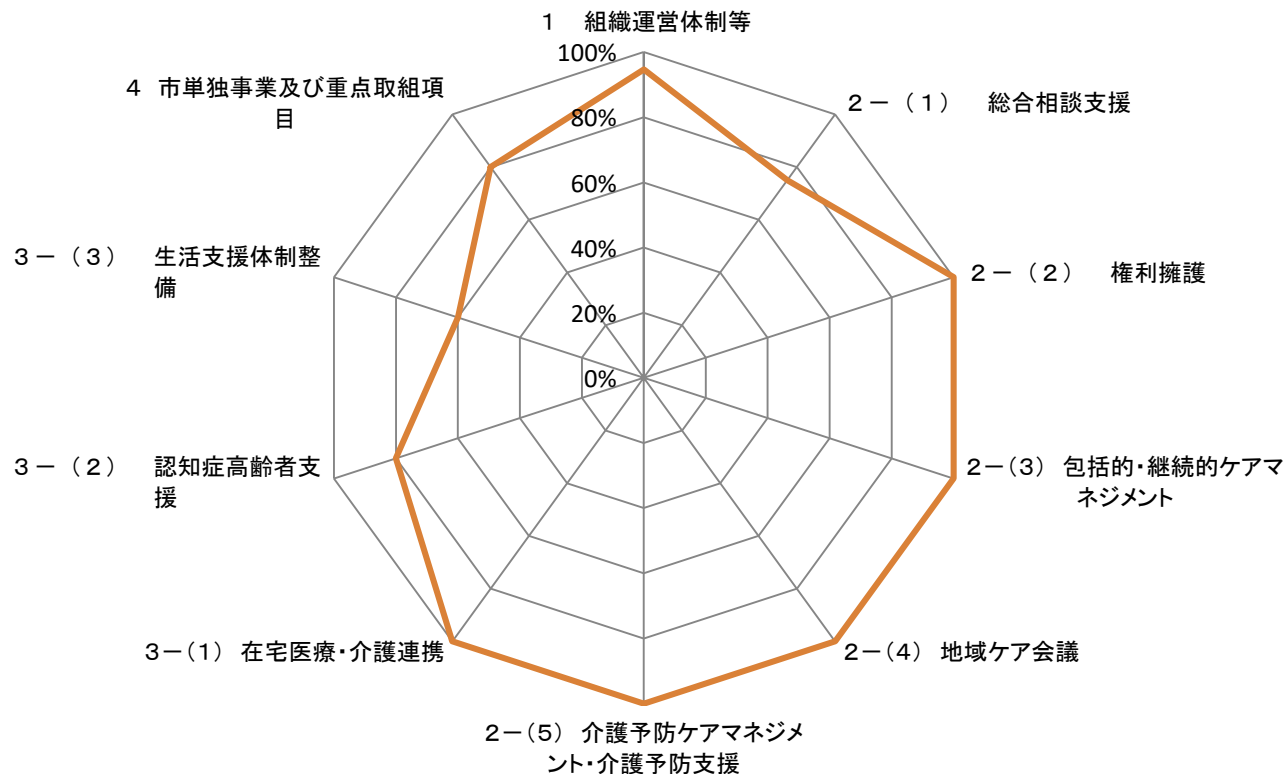
## 在宅介護・地域包括支援センター



- 新型コロナウイルス感染症の影響が続く中で新規にサロンが開設されたことは大いに評価すべき点である。また、全センターにおいて最も多い全8か所(新規開設1か所を含む)のいきいきサロンの運営サポートを実施しており、コロナ禍におけるフレイル予防が大きな課題となる中、今後も運営支援の継続をお願いしたい。
- 相談内容も複雑多様化し、事例の対応困難さを伺い知ることができる。解決に向けて基幹包括をはじめ医療機関、生活福祉課、障害者福祉課といった関係機関との協力体制の構築を行い、連携がスムーズにできている。
- チーム力の向上と共に個々の職員の資質向上のため、研修にも積極的に参加している姿勢が見られるため、今後も引き続き努めていただきたい。

# 武蔵野赤十字

## 在宅介護・地域包括支援センター



- テンミリオンハウスを通じて子育て世代へのアプローチを実施し、ダブルケアなど内在する課題の発見につなげようとする取組みは、今後多様化する支援ニーズに対応するため重要である。多世代交流型の施設が地域資源として存在する貴センターの特長的な取組みとして、今後も継続していただきたい。
- 地域ケア会議を活用して、フレイル予防の取組みとしてラジオ体操を実施。このことをテンミリオンハウスやコミュニティ協議会と協働で実施できるように地域に向けた働きかけを実施していることを評価する。
- 母体が病院である貴センターの特性を活かし、コロナ禍における退院支援の際の医療機関との連携や感染症の研修について、他センターにも共有しようとする姿勢は評価する点である。